

ビル経営フェア2000

出展企業
一覧

今回で2回目を迎える

エスパー

ビル専門の部署により二
次元の把握を徹底的に行
つているため、特殊な部分に對
しても対応でき、

世間では「ビル経営フェア2000」。それ、景気も回復の兆しが見え始めているものの、ビル業界は依然として先行きが不透明だ。そのような中、

今世紀最後となる同イベン
トに49もの企業が“ビル業
界の活性化”という旗の下、
一挙に集結する。彼ら出展
企業の熱き声に耳を傾けて
もらいたい。



ビル管理システム統括部
責任者 淳二氏
います」(藤本淳二氏)

テナント管理が効率的に

ビルマネジメン
トシステム・コン
ピュータソフトを
紹介するエスパー
(東京都新宿区)。
「ビルのテナント管
理に対する変動費計算などに
費用請求部分で対応する「プロ」の2シ
ス。当社では、リーズが用意されている。

共同カイテック



取締役副社長 吉田博氏

「OAフロアシステム フロア-E c. o. 40」はガラス張りの床面積「c. o. 40」と屋上緑化システム「ネットワークフロア-E」を組み合わせた「底水型スクエアタワー」。これにより、テナントの転居などで不要にならぬ点は、テナント管理ソフトの開発の最難点です。当社では、「エムピー」とテナント管理から変動費計算などに向上させるもので、請求書発行をメインとした

完全リサイクル型のOAフロアと 屋上緑化用天然芝ユニットを展示

ジャスト技研



専務取締役 堺村川

コーティングシステムや 自動節水装置などを出品

コーティングシステムには、建物のガラス用UVカットコーティング材とメンテナンスフリー化による被害を抑制することにより、清潔さを実現するトイレなどの便器をキープし、トイレの清掃時間を短縮させることにより、人件費を削減することができる。また、トイレの節水、アメニティ性、そして利便性を向上させる自動水栓装置を展示し、来場者に向けたアピールしていく。

東京工レベーター



副社長 英華氏

昨年参入したエレベーターの施工事業、ビルの防災化で実績を上げてきました。同社の第五マーケティング・第三事業部もA

NTTグループのマルチメディア会社、エヌ・ティ・ティ・エムイーの「オフィスビルへのリニア化やADSL使用により、光通信事業者として、様々な通信アイテムを使い、ユーチュアルのためのサービスを提供する」。同社の特徴は、第2種ビルの情報化対応を紹介する。

同社のビル光化事業部門は、ビルの光幹線化から中小ビルDLS等を使用した中大規模ビルから中小ビルDSL等を使用した中大規模ビルの情報化対応事業に進出する。

今回のフェアでは、光ネット化で実績を上げてきました。同社の第五マーケティング・第三事業部もA

UVカット用のものは、近年増加している紫外線による被害を抑制することにより、清潔さを実現するトイレなどの便器をキープし、トイレの清掃時間を短縮させることにより、人件費を削減する。

马桶装置を展示し、来場者が向けてアピールしていく。

日本型プロパティマネジメント推進



社長 雅文氏
島田 島田

日本型プロパティマネジメントのリーディングカンパニーを目指す同社は、個人ビルオーナーを中心としたターゲットにプロパティマネジメントやサポートメニューを幅広く紹介する。5日(木)のビル経営セミナーでは、同社のプロパティマネジメント事務部腰高夏樹ゼネラルマネージャーが、「今求められる日本型プロパティマネジメントの輪旋、マネジメント」と題した講演を行なう。

オーナーの経営戦略に適した オフィスビル復活計画を提案

港区)であるサポーーするシステムを提案している。同社では、オーナーが所有・管理していくべきアシリティの様々な問題を行っていく上で欠かせないと言えるのが、アシリティマネジメントである。そのコンサルティング事業を推進しているのがイフマック(東京都)。

同社が提
案している
「オフィス
ビル復活計
画」は、ビ
ルオーナー
として最大限に活用する
ことができる。この空きスペースを活用したオーナーによるサイドビジネスも
注目されている。また、テナントサービスの一環

など駐車場のタイプを問
わずに企画開発・運営・メンテナンスなどを行つて、所有・ビル経営が厳しいと言
うべきである。同社では、オーナーだけではなくテナントサービスの一環

また、これ
までマンショ
の中嶋虎課長による講
演も行なわれる。

4日(水)には、同社
のレベーター(東京工
業大学)の更新需要が
急増しており、当社は、
メンテナンスを割安く請け負うことが可
能(同氏)。

「現在老朽化したエレベーターの更新需要が、他の社よりも3~4倍あります。しかし、ビルの低価格化を武器にしておられることは、マンションの防錆技術セミナー」を

開催するなど、オーナーや管理会社に向けた防錆技術に関する情報発信に力を入れています。同社では、セミナーの開催や今回のイベントの開催などにより、より正確な情報を提供するよう

「ビル自体の延命対策として、給水管やその腐食性に関する情報発信に力を入れています。同社では、セミナーの開催や今回のイベントの開催などにより、より正確な情報を提供するよう

東京ガス



GHP・業務用機器部
三井 賢徳氏

電力需要を平準化させる空調システム

駐車場運営のトータルサポート



東京支店課長
松本 一孝氏

豊富な診断技術メニュー



建築設備部建築設備部
部長代理 千葉正胤氏

トーセツ

各ビルに適した情報化武装を

NTT-ME



光マルチメディアビジネス事業部
伊藤 博之氏

呉羽テクノエンジニアリング



施設防食グループリーダー
伊藤 行正氏

給水管メンテに関する正確な情報を提供

消防キット、排水管、内外装劣化診断、設備劣化診断、機能・設備機能、安全・防災法適合度調査、構造体劣化診断、設備診断、構造体劣化診断、設備診断など、診断技術などを出展するトーセツ(東京港)。

用する。腐食電位、土壤

地下水質、土壌

の寿命は60年

の両日、実践セミナーと

開催します。(伊村

一氏)

が、それに比べ給

と選定のための評価方法

についてと題する講演

を行なう。

水管の寿命は極端

に短い、そのため、

を行なう。

東京ガス
の設備の中でも依然として閑度の高いのが、大きく貢献する「ガスビル」である。その一方で、年々ビルの電力需要が増加していることをカットし、電気代などを減らす。また、熱源がコンパク

ト化され、省エネエネルギーが国全体で求められている。そこで、トになることで、スペースを確保する。

ピー・エム・トラスト



東京支店課長
松本 一孝氏

オーナーの経営戦略に適した オフィスビル復活計画を提案

港区)であるサポーーするシステムを提案している。同社では、オーナーが所有・管理していくべきアシリティの様々な問題を行っていく上で欠かせないと言えるのが、アシリティマネジメントである。そのコンサルティング事業を推進しているのがイフマック(東京都)。

同社が提
案している
「オフィス
ビル復活計
画」は、ビ
ルオーナー
として最大限に活用する
ことができる。この空きスペースを活用したオーナーによるサイドビジネスも
注目されている。また、テナントサービスの一環

また、これ
までマンショ
の中嶋虎課長による講
演も行なわれる。

4日(水)には、同社
のレベーター(東京工
業大学)の更新需要が
急増しており、当社は、
メンテナンスを割安く請け負うことが可
能(同氏)。

「現在老朽化したエレベーターの更新需要が、他の社よりも3~4倍あります。しかし、ビルの低価格化を武器にしておられることは、マンションの防錆技術セミナー」を

開催するなど、オーナーや管理会社に向けた防錆技術に関する情報発信に力を入れています。同社では、セミナーの開催や今回のイベントの開催などにより、より正確な情報を提供するよう

「ビル自体の延命対策として、給水管やその腐食性に関する情報発信に力を入れています。同社では、セミナーの開催や今回のイベントの開催などにより、より正確な情報を提供するよう

「ビルの給水管

延命対策として、

給水管内面防

食装置「KRE

FLOS」「ビ

ル用オネストラ

イマ」を紹介する吳羽テクノエンジニアリング(東京都中央区)。同社は、現在、隔月で「ビル

の寿命は60年

の両日、実践セミナーと

開催します。(伊村

一氏)

が、それに比べ給

と選定のための評価方法

についてと題する講演

を行なう。

水管の寿命は極端

に短い、そのため、

を行なう。

